

2025.10.9thu_12.7sun

開館時間 9:00-17:00 *最終入館は16:30まで

休館日 月曜日(10月13日・11月3日・11月24日は開館)
10月14日(火)・11月4日(火)・11月25日(火)

コレクション展観覧料

一般400円(団体320円)

学生・70歳以上200円 / 高校生以下無料

*「The 花鳥画」展(10月11日-11月24日)のチケットで当日本展もあわせてご覧いただけます *障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

会場 鳥取県立美術館 コレクションギャラリー 3

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12

TEL 0858-24-5442

URL <https://tottori-moa.jp/>



アンディ・ウォーホル《ブリロ・ボックス》1968年

© 2025 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo G3988

鳥取県立美術館コレクション展PLUS

「ブリロ」が「モリロ」に出会ったとせよ

アンディ・ウォーホル
森村泰昌
二人展



《関連企画》

講演会とトーク

「ブリロ・ボックスは、なぜおもしろいのか?」

ウォーホルと《ブリロ・ボックス》について森村泰昌氏にお話をいただいた後、当館館長 尾崎とトークをいたします

講師: 森村泰昌(美術家)

聞き手: 尾崎信一郎(鳥取県立美術館館長)

日時: 11月9日(日) 14:00-15:30

会場: 1Fホール(定員60名・当日先着順 / 開場13:30~)

《クロージングイベント》

映画「エゴ・シンボシオン」上映会

展示会場ではウォーホルのセクションのみ上映されている
森村泰昌作「エゴ・シンボシオン」の全編を上映。

日時: 12月7日(日) 14:00-15:15

会場: 1Fホール(定員60名・当日先着順 / 開場13:30~)

学芸員によるギャラリートーク 10月12日(日)、11月16日(日)

《ブリロ・ボックス》はポップ・アートの旗手、アンディ・ウォーホルの代表作の一つとして知られています。実在する洗剤付きたわしの梱包箱を模したこの作品は「現代美術」の成立を象徴する画期的な作品とみなされる一方で、非芸術的、非個性的な外観によって大きな議論を引き起こし、その余波は発表から半世紀を超えてはるか山陰地方にも及びました。

鳥取県立美術館ではこの作品をさまざまな文脈の中で紹介する試みが続けていますが、ウォーホルに扮した作品を制作したこともある美術家、森村泰昌が制作した《モリロ・ボックス》と合わせて展示することになりました。過去の巨匠や名作の中に自身を紛れ込ませる独自の作風で知られる森村がウォーホルと《ブリロ・ボックス》に挑戦する時、どのような展示が出現するか。あなた自身の目でお確かめください。

森村泰昌《モリロ・ボックス》2016年



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART